

学校だより

にしずえ

甲斐市立双葉東小学校

平成20年12月18日号

個別懇談が終わり...冬休みを前に...メアリーという赤ちゃんの話を

師走に入り、大変お忙しい中、個別懇談のために学校に足を運んでいただき、ありがとうございました。有意義な個別懇談になったでしょうか。懇談では学校でのお子さんのがんばりや、期待したい事等を、各担任から話されたと思います。また、各家庭でのお子さんの悩み事や課題などを出していただいたことと思います。ともに考えるよい機会だったと思います。今後も子どもたちの成長のため、学校と家庭で手を携えがんばっていきましょう。

さて、今年も残すところ数日になりましたが、世間では今年の〇〇十大ニュースが恒例になっています。学校というところは4月に始まり3月に終わるだけに、単なる2学期の終わり3学期の始まりに過ぎませんが、児童一人一人にとっても教職員一人一人にとっても年末年始は特別な意味があるはずです。個別懇談でも、担任から冬休みの過ごし方について学校の考えをお示しましたが、ぜひ有意義な年越しをはさんでの冬休みにしてください。

そこで、釈迦に説法ですが、以前私が研修会で聞いた子育てについての興味深い話を紹介させていただきます。それは「メアリーという赤ちゃんの話」です。

アメリカに若い夫婦がいました。二人とも将来を嘱望された優秀な学者でした。この夫婦の間に女の赤ちゃんが生まれました。名前をメアリーといいます。この夫婦は考えました。夫婦共に学者として忙しいのでなるべく手のかからない子に育てよう。そこで、次のようにしました。

- ・ 赤ちゃんに合わせるのではなく、時間を決めて、おしめを変えよう。
- ・ 赤ちゃんに合わせるのではなく、時間を決めて、ミルクを与えよう。
- ・ 自立心を育てるため、また抱き癖が付くのを防ぐ為、なるべく抱かないようにしよう。
- ・ ミルクを飲ませたりする時、あやしたり、話しかけたりしないようにしよう。

確かに合理的な子育てのように思えます。赤ちゃんの存在に振り回されることなく二人の学者としての生活、時間をそのまま維持しながら子育てをして行こう、と考えたのです。しかし、しばらくして不思議なことが起こりました。

- ・ メアリーは笑わなくなりました。
- ・ メアリーは泣かなくなりました。
- ・ メアリーは体重が増えなくなりました。

裁判所は、二人からメアリーを取り上げました。乳児虐待と判断したのです。そして、施設で育てることにしました。メアリーが保育されている場所の前には次のようなお願いが書かれていました。

- ・ この赤ちゃんに話しかけ、微笑みかけてください。
- ・ この赤ちゃんを抱きしめてください。



しばらくすると、メアリーは生き生きとした表情で笑ったり、機嫌が悪いときは泣いたりする様になりました。そして、体重もぐんぐん増えて行きました。

このような話です。この話は実際にアメリカであった話で、この話の中から私たちは次のようなことを学びます。①人が育つには、人との関わりが必要だ。②ミルクを飲ませても赤ちゃんはそれだけでは育たない。愛情が入って始めてミルクは赤ちゃんを育てる力になる。③赤ちゃんを抱いたり、ほおずりをしたりすることは、赤ちゃんの成長にとってミルクと同じように重要な役割を持つ。

アメリカの有名な教育心理学者であるエリクソンは「発達段階説」で、人の成長にはそれぞれの育つ段階でどのような対応が必要かを述べています。その中で、子育てにはスキンシップがなくてはならないことを力説しています。しかし、エリクソンの理論を借りるまでもなく、わが国にも昔から次のような子育てのすばらしい教えがあります。『乳児期には肌を離さず、幼児期には手を離さず、少年(少女)期には目を離さず、青年期には心を離さず』



校庭整備工事急ピッチ！

「ガ！ガ！ガ！ガ！ガ！」「ガン！ガン！ガン！ガン！」「グルルル！」様々な音と共に12月1日から正式名称『甲斐市立双葉東小学校校庭芝生化等整備工事』が始まりました。一気に工事に入った感じで、特に竜地の池と校庭の境にあった擁壁撤去工事の音はすさまじいものでした。今はブルドーザーの音とユンボの音ぐらいでだいぶ落ち着いた工事になっています。ちなみに校舎内での授業への支障は、校舎が新しくサッシがしっかりしているためありませんでした。工期は3月中旬までとなっていますが、芝の根付きの関係で全面供用開始は延期されそうです。



芝生化を推進している東京都の資料を読むと、①緑化推進②温度上昇の抑制③砂ぼこりの抑制④水はけの改善⑤外で遊ぶ子どもの増加⑥安全性の向上⑦自然・環境学習の場。以上の7点を校庭芝生化によってもたらされる効果として上げています。

休み時間や放課後に、はだしで遊んだり、寝転がることの出来る校庭の完成が待ち遠しいところではありますが、子どもたちのストレスの蓄積も気になるところです。そこで、体育館及び校舎正面玄関前庭と、プール前駐車場を児童に開放することに決定しました。体育の授業での使用も、授業内容を考えながら3ヶ所で行うことにしました。そのため12月3日付で通知させていただいた「校庭改修及び芝生化工事に伴う駐車場等のお願い」とおり、完成までの期間大変な迷惑をおかけします。なお、完成後も校庭を従来のような駐車場とすることが出来ませんので、学校へのお出かけは、まさに「エコ」な徒歩になることをご承知ください。よろしくご協力のほどをお願い申し上げます。



全ての家庭がすばらしい新年を迎えられることをお祈り申し上げます。